

岡本 幹男 議員

橋梁施設の点検補修は

問 耐震補強の観点より供用開始後40年超過の橋梁（浅羽・浅名・梅山に多い）の対策を急ぐべきでは。

答 橋梁の補強時期は構造や交通量による老朽化の度合いによっており、必ずしも経過年数を基にしていない。しかし、今後は日常点検の中で劣化の状況を確認し、必要のあるものは前倒して修繕を実施していきたい。

地域防犯の推進は

問 子ども防犯ソング「おにはいやだよ」の普及活動は。

答 各小学校の校内放送で流したり、ポスター掲示をしたりしている。今後は、市のホームページに掲載するなどして地域全体で子どもたちを見守る機運を高めていきたい。



昭和39年3月竣工の広瀬橋

サイクルタウン推進事業は

問 日本一健康文化都市実現の施策の一環であるサイクルタウン推進事業の取り組みは。

答 本年度策定の「自転車を活かしたまちづくりの指針」により、体力づくりやサイクリングなどの自転車利用そのものや、カラー舗装・路面標示など安全で快適に走行できる環境整備等の効果的な事業の推進をした。

高木 清隆 議員

農業振興施策を問う

問 育成すべき農業者像とは。

答 消費者ニーズの変化やTPP参加など、農業を取り巻く環境が次々と変化する中、生産する農産物をいかに売るかという視点で、意欲と経営感覚を有した農業者がこれからの農業経営に求められる人材であると認識している。

観光振興施策を問う

問 誰に何をさせるか対象の明確化に向けた取り組みは。

答 静岡県はシニア層の観光客が多い。本市には遠州三山をはじめ、古刹・名刹が数多くあるためシニア層をターゲットにする。また、歴史など歴史に興味のある方も増えており、歴史に触れ、静寂の中で自分を見つめ直す旅を提供し、誘客促進を図りたい。

問 農産物の輸出競争力を強化するための課題とは。

答 一つ目は、輸出国のどの階層がターゲットかを明確化すること。二つ目は、輸出国の基準に合った残留農薬の問題や食品の安全・安心に関する国際規格である「グローバルギャップ」などの認証取得による信用度の向上。更には、日本での窓口となる商社や輸出企業との信頼関係の構築も海外輸出成功に向けた重要なファクターである。



台湾で開催された日本の観光・物産展